



静岡市林業研究会



森林を適正に管理することで
様々な公的機能の増進が期待されています。

森は、雨水を蓄え時間をかけて、ゆっくりと沢から川へと流れていき、豊かな海を作る手助けをしています。



地域の製材・建築業者とロゴマークで繋がっていることで
産地の明確な認証木材を皆さんにお届けできます。

オクシズの森で適正に管理されている木材は、CO2 吸収源・固定先として地球温暖化を防止するため一役を担っています。

静岡市林業研究会森林認証部会では、環境に配慮し、適正に管理された森林から産出した木材をお届けするため、2005年にSGECの森林認証を取得しました。

森林認証制度は、1993年に自然保護団体を中心にドイツで創設されたFSCと1999年に欧州で始まったPEFCの二つの制度が国際的に普及しています。

また、2003年にスタートした日本のSGECをはじめ、世界ではそれぞれの国ごとに、地球環境を守り、機能の増進を図るための制度が作られています。

2016年、日本のSGECはPEFCと相互認証を取り交わし、世界の流通市場に於いても認証木材として扱われることになりました。2020年東京オリンピック・パラリンピック関連の施設では森林認証木材の仕様が求められています。

SGEC (『緑の循環』認証会議:人工林が多く小規模な所有が多い日本の森林実情に対応)

PEFC (Programme for Endorsement of Forest Certification Schemes: PEFC 評議会)

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会)

静岡市林業研究会【森林認証部会】

認証森林面積：2273.22ha

年間出材量：約 5,000 m³

HP / <http://www4.tokai.or.jp/yamayosi/>

